

生駒市 一般廃棄物処理基本計画 市民ワークショップ 開催結果

生駒市のごみ減量や資源循環を進めるため、市民・事業者・行政の協働で進める取り組みを市民とともに考え、参加者の5R実践につなげることを目的に、また、検討の中で関心を頂く市民が担い手としての活動に興味・関心を持ってもらうことを期待し市民ワークショップを開催しました。

1 開催概要

ワークショップ名	生駒市のごみ みんなでできることを考えるワークショップ
開催日	第1回:8月31日(土) 午前9時15分~12時15分 第2回:9月6日(土) 午前9時30分~12時00分
会場	生駒市役所(大会議室)
対象・参加人数	市民参加者 17名
ワークショップの内容	<ul style="list-style-type: none"> ●ワークショップ1日目 <ul style="list-style-type: none"> ・市 地域活力創生部の取組について ・市のごみ減量・資源化の状況説明 ・市内の取り組み実践者からの取り組み事例紹介 (ひかりが丘自治会 藤堂 宏子 氏、NPO法人関西ワンディッシュエイド協会 樽井 雅美 氏) ・生駒市のごみ減量や資源循環を進めるうえでの日常生活の中での課題と生駒市のようにところを探すブレインストーミング ●ワークショップ2日目 <ul style="list-style-type: none"> ・講演「アイデアを形にする方法」(CODE for IKOMA 佐藤 拓也 氏) ・市民、事業者、行政が協働した新たな取り組みを企画



ひかりが丘自治会 藤堂 宏子 氏、



NPO法人関西ワンディッシュエイド協会 樽井 雅美 氏



CODE for IKOMA 佐藤 拓也 氏

生駒市内で活動する3名の講師の方々から取り組み事例の紹介や、課題をどう活動に結び付けていくか等、実践的な内容をお話いただきました。

2 結果概要

(1)生駒市の課題・よいところ(ワークショップ1日目の成果)

ワークショップ1日目にて、生駒市のごみ減量や資源循環を進めるうえでの課題、生駒市によいところとして、次の意見が出されました。特に課題については、「分別が難しい」、「ごみ出しルールが守られていない」、「集積所が遠い」、「終活の仕方や大量にごみを捨てる方法がわからない」といった意見が出されました。

生駒市のごみ減量や資源循環を進めるうえでの課題 (抜粋)	<p><分別></p> <ul style="list-style-type: none">プラスチックごみの分別が難しいプラスチックの時にプラスチック製品がよく混在しているごみの分別を冊子を見て仕分けるのが大変・高齢者には限界がある分別が間違っている人がいる <p><リユース></p> <ul style="list-style-type: none">使えそうなものが捨てられている <p><ごみ出し></p> <ul style="list-style-type: none">ごみ出しのルールを守らない人がいるごみ出し時間に持つていけない人がいる集積所が遠い車のある人、ない人の差がある <p><その他></p> <ul style="list-style-type: none">終活の仕方や大量ごみを捨てる方法がわからないたばこのポイ捨てが減っていない近所付き合いが少ない
生駒市によいところ (抜粋)	<p><ごみの取り組み></p> <ul style="list-style-type: none">まちのえき(こみすて)がよいピンクボランティア袋がよいごみ拾いをライフワークとしてくれている方がいる <p><まちづくりの取り組み></p> <ul style="list-style-type: none">世代間交流、自治体で文化交流地域でイベントがある学校がステキ、教育熱心福祉にも頑張っている <p><人></p> <ul style="list-style-type: none">近所づきあいがある市民の意識が高い防災士さん地域で活躍人材豊か <p><生駒市の立地></p> <ul style="list-style-type: none">京都、大阪への交通が便利交通の便がよい <p><市内の素敵な場所></p> <ul style="list-style-type: none">宝山寺の参道、景色やお店ケーブルカーAkaiito (俵口町にあるカフェ)オープンガーデン <p><自然が豊か></p> <ul style="list-style-type: none">生駒山や自然緑が多い自然が豊かウグイスの美しい声まちなかの緑生駒山からの景色がきれい矢田丘陵や生駒山春～夏にかけてウグイスの鳴き声が聞こえるので心がなごむ <p><その他></p> <ul style="list-style-type: none">治安がいい大きな災害がない

(2)市民、事業者、行政が協働した新たな取り組み(ワークショップ2日目の成果)

ワークショップ2日目には、1日目で出しあった「生駒市のごみ減量や資源循環を進めるうえでの課題」と「生駒市のおいとこ」を掛け合わせて、新たな取り組みを企画しました。

企画された新たな取り組みは、いずれも「**コミュニティを軸に人ととの関わりを強めながらごみ減量や資源循環に取り組む内容**」でした。

取り組みタイトル	概要
いこまは家族	防災無線やパッカ一車、市広報車等を用いて市内に挨拶をこだませ、自然と挨拶を行う雰囲気を醸成し、コミュニティでの人と人との関りを強めることで、ごみの分別などを教えあう運動につなげる。
スマホアプリ ごみつと戦士 "たけまるくん"	ITに強い人、ごみに関する知識が多い人が参加して、分別を教えたり、地域清掃活動情報や清掃工場の見学会などのイベント情報を提供するアプリを開発する。アプリを通して人と人の関わりが増え、コミュニティの力を強める取り組みとする。
地域で家族- ごみは地域コミュニティ	集会所などで月に数回集まり、資源回収やモノの交換会、地域清掃活動などを楽しみながら行う。地域に開かれた場づくりによりお互いが支えあうコミュニティづくりにつなげる取り組みとする。



3 参加者の感想(参加者アンケートより抜粋)

- ・ここから「形」になることを楽しみにしています。
- ・様々な意見が出て楽しかった。
- ・参加してみて色々なアイデアを持っておられる方がいることに感心しました。

以上